



伊賀市議会だより

創刊号
平成17年7月1日



ひとが輝く 地域が輝く
～住みよさが実感できる自主と共生のまち～

三月定例会
会議日程

三月	二月
三月二十八日	二月十七日
三月二十一日	二月十四日
三月十七日	二月十三日
三月十四日	二月十日
三月十一日	二月七日
三月八日	二月四日
三月五日	二月一日
三月二日	一月二十八日
二月二十八日	一月二十五日
二月二十五日	一月二十二日
二月二十二日	一月十九日
二月十九日	一月十六日
二月十六日	一月十三日
二月十三日	一月十日
二月十日	一月七日
二月七日	一月四日
二月四日	一月一日

三月	二月
三月二十八日	二月十七日
三月二十一日	二月十四日
三月十七日	二月十三日
三月十四日	二月十日
三月十一日	二月七日
三月八日	二月四日
三月五日	二月一日
三月二日	一月二十八日
二月二十八日	一月二十五日
二月二十五日	一月二十二日
二月二十二日	一月十九日
二月十九日	一月十六日
二月十六日	一月十三日
二月十日	一月十日
二月七日	一月七日
二月四日	一月四日
二月一日	一月一日

市政に 対する

一般質問

一般質問は二月二三日から三日間行われ、四十人の議員から、市の諸問題についての質問がありました。

成人式のあり方について

(渡久山方ナエ議員)

Q 今年伊賀市になって始めての成人式が一月に、さまざまホールで行われた。成人式は、同窓会的な面や送り迎えが大変なことでもあり、地元で開催できないか。また新成人たちが実行委員、だったらもつと楽しめたかも、と言う声があった。

A 伊賀は一つとなったが来年に向けての考えがあるのか。



本年度の成人式

Q 家族の方の送り迎え等、大変なことだと思いますが、若い人たちが、これからの伊賀市の担い手になっていくことから、早く一体性を作り上げてもらうために、伊賀市の成人が一同に会して成人式を祝うということが大事だと思います。また、実行委員については、合併後から検討に入ったため、時間的な余裕がありませんでした。来年度の成人式は、企画の段階から新成人を交えて新成人が主体的に成人式に参加できるように働きかけたいと考えています。

地域農業後継者対策について

(今井由輝議員)

Q 地域農業の将来を任せるのは、若い農業の後継者であるが、このことに対する十七年度予算が少ないように思うが、どのように計上されているのか明確にしたい。

A 後継者対策については、地域における担い手の確保が不可欠であると考えます。そのためには集落営農を推進していますが、その中で若い方にも関わりをもつていただきたいと思っております。また、集落営農は地域によって営農条件が異なるので、地域にあった方法を地域で考えていただくとともに組織作り等については、農協とも連携して支援をまいりたいと思っております。更には、6月議会地域活性化条例を提案させていただき、その中で農業のあり方、農村のあり方、農村住民のあり方を盛り込んだ地域活性化計画を本年度策定し、将来に向けて地道に取り組んでいきたいと考えています。

スポーツ少年団の育成について

(木津直樹議員)

Q 伊賀市のスポーツ少年団やスポーツ教室は七十一団体あり、約二千人の市民が少年少女のスポーツにかかわっているが、今後の青少年健全育成の考えと取り組み、またスポーツ少年団七十一団体の育成をどうしていくのかお尋ねする。

A 子どもの育成及び子育て支援の2本の柱の計画書を作り、それに基づいて地域の担い手としての子どもを育てていきたいと考えています。十七年度には、旧スポーツ少年団、スポーツ教室を統合し、仮称伊賀市スポーツ少年団

合併による財政効果について

(恒岡弘二議員)

Q 合併による財政効果は、最初から表れるとは思わないが、五年、十年のスパンでどのくらい生み出されていくのかという試算を、市民の方に知ってもらわなければならないと思うがどうか。

A 合併の説明会等で管理経費の節減やスケールメリットで、財政的には、その部分では少しよくなるだろうという説明をしてみました。人件費の削減につきましては、十六年度ベースで四、一%減となっておりますが、六月ごろ定員適正化計画を策定し、その中で削減を図っていくよう考えています。また、財政計画であります。総合計画とのすり合わせも行い、十月を目途に策定していきたいと考えています。

島ヶ原小・中学校の改築工事について

(森仲定貴議員)

Q 合併前に施工された島ヶ原小・中学校の改築工事に係る工事及び設計監理ミスがあったが、その対応はどうか。また調査特別委員会を設置できないか。

A 屋根に降った雨水を再利用するために雨水を溜めるピットを設置しましたが、そのピットからオーバーフローする際の穴の位置が悪く、床下に雨漏りしたのが原因と聞いています。補修工事については、授業に支障のない時期に行う予定でございますが、児童



島ヶ原小・中学校

旧大山田東小学校跡地活用について

(井上貞夫議員)

生徒の影響を十分配慮して適切な対応をいたします。なお、調査特別委員会については、議会の方で作られるという話になると思いますが。

Q 市長の方針の一つに、人づくりと文化交流を掲げられていて、旧大山田村の東小学校跡地を有効に活用している。市民センターを併設した地域交流館の整備に向け、調査研究を進めています。その現況をお伺いする。



旧大山田東小学校

A 築後四十年ほど経過しており、耐震構造に改修しても、あまり長持ちほしな思っています。今後、支所を交え地元と協議しながら、調査研究、基本構想、実施計画を進めてまいりたいと考えています。

一般財源確保の具体的方針について

(森岡昭二議員)

Q 行財政改革推進委員会を設置し、行財政大綱及び実施計画の策定を進めるとされているが、その中に財源確保の具体的方針について、触れられるのかどうかお伺いする。

A どのような行財政の改革を行うかということ、各分野で細かくうたっています。一方、長期の財政計画も策定していくため、一般財源確保の議論も対象になってくると思

校区再編計画の進捗状況について

(松村頼清議員)

Q 上野地区では現在校区再編計画検討委員会の答申を受けて、再編計画を進めている。この計画は地域の合意と参画が基本となり、地域の方々を主体として実施計画を作成するとなっているが、教育委員会主導のもとに行われていると思いませんか。

A 各界の代表者で構成する、校区再編計画検討委員会で練り上げて作った案であり、その案を実施するに当たって、さらにパブリックコメントも実施しており、教育委員会主導ではないことのご理解をいただきたい。

市町施設方針について

(辻公偉治議員)

Q 市長は、新政伊賀市の一体性の確立が最重要課題と言われているが、具現化するための具体例を十七年度施策の中にどんなものを取り上げているのかお答え願いたい。

A 一体性に向けては、十万市民一人ひとりが一つの市づくりのためにご尽力をいただくということが大事であると思います。とりわけ行政職員が伊賀市全体の職員であるということの意識改革が必要になってくると思っています。

今年の事業であります。伊賀市の子どもたちに呼びかけまして、宝くじ事業の一つである名球会の野球教室事業等を計画しております。そういう事業を展開することによって一体性が早く上がってきますので、こういった交流が非常に重要であると考えます。

島ヶ原地区内の木津川護岸整備について

(土山米徳議員)

Q 木津川護岸整備として十六年度に付いた予算が七千万円であったが、関係者の協力が得られず、予算が流れてしまったという経緯がある。三千万円ぐらいは東側から工事にかかると思うが、早期に完成させたいが、

れたいと思うが考えは。

A 島ヶ原地区の護岸整備については、難しい箇所が一箇所あると聞いていますが、なかなか進んでいかないので、現状であります。地権者の協力が得られれば、県としても予算を流したから工事をしてほしいということではなく、整備をしていくと思っております。



奈良市(柳生月ヶ瀬経由)から伊賀市へ近鉄電車を走らせることについて

(馬場登代光議員)

Q 奈良市長は月ヶ瀬村との合併調印式の記者会見で、近鉄電車の延伸を言われている。この構想を確認するため奈良市長との会見をしたが、伊賀市の近鉄本線に接続して、循環型の電車を走らせたいとの意向であった。市長はこの奈良市長の構想をご存知か、お伺いする。

A この構想は、新聞等で拝見させていただきました。伊賀地域にとつて夢のある話ですので、奈良市長さんとお会いできた話し合いをしてみたいと思っております。また、奈良県下の状況も含めて少し勉強してみたいと感じております。

関西本線電化について

(河辻論議員)

Q 市長の公約の中でも関西本線電化の問題は、大きなウェイトを占めておられたと思っております。これからの関西電化促進のための素案を明示していただきたい。

A 亀山市とは当時から一緒になって運動を展開してまいりましたが、従来のようなJR

へお願いしますという形だけでは無理ではないかと思っております。一歩前進した方向で協議していきましょうという話であります。ここへ県も入りまして、研究会を立ち上げる予定であります。更に、亀山・津間もまだ電化の運動がされていけませんので、津市さんにも呼びかけをして、運動を展開していきたいと考えています。



JR伊賀上野駅

説明責任について

(山中隆行議員)

Q これからは限られた財源の中で、市の施策を行っていくとなれば、いままでは十分に説明が求められると思う。友生小学校の建築に関しても、最初から十分な地元との話し合いが持たれていたら、ここまでこじれることはなかったと思われる。市民の方々に納得いただける議論を深めるためにも、きちんとした説明の責任を果たしていただきたいとおもいますが、市長の見解をお伺いする。

A 友生小学校に関して申し上げますと、警備員の問題や行政指導によって変更した部分についても事前に設計にうたわっていることでもあります。今後は、この反省にたちまして事務事業をきちっと進めてまいるようにしたいと思っております。

基礎学力と生きる力について

(増岡規成議員)

Q 教育は人間社会のすべての基本であると考えます。十七年度の教育方針では、生きる力をつけていくことが大切である等々がうたわれているが、一方で学力の低下が著しいといわれている。生きる力も大切ですが、基礎

学力も大事だと思うが、考えをお伺いする。
A 学力向上プロジェクトを作り、各学校ごとに学力を確認して、保護者や地域住民の方々とともに、それを高めるにはどうしたらいいのかという計画を進めております。

情報セキュリティの確立

(土井裕子議員)

Q 電子自治体の進展に伴い、自治体の情報資産が増大し、サービスの向上が進む一方で情報事故も多発しており、セキュリティ対策は自治体経営の最重要課題の一つである。実効性のあるセキュリティを確保するため、どのように対処されているのかお尋ねする。

A 伊賀市電算システム運用管理マニュアル及びグループウェア運用ルールというのを定めて全職員に周知しています。その中で情報セキュリティ対策について、特に守らなければならない基準を定めて職員に周知しています。更に情報を取り扱う職員の意識徹底が最も大事であると考えています。



三丁目の建設について

(森永人三議員)

Q 川上ダム建設について、淀川流域委員会から最終的な意見が示されると報道されたが、地元市として現時点で知りえていく精度の高い情報に基づいた見直しをお伺いする。

A 概ね、流域委員会或いは地域懇談会で方向が定まってきたと思っております。国・自治体の考えと流域委員会の掲げている理想とは少し乖離しており、考え方は平行線をたどっているというところであります。利水の状況については大変に厳しいが、治水については流域委員会も一定理解を示しております。この四月には河川管理者が一定の方向を判断するだろうという見直しをたてています。

非核平和都市宣言について

(大坪昭明議員)

Q 非核平和都市宣言については、なるべく早い宣言の採択を望むものであるが、今どこまで進行しているか、また市民に対し、非核に係わる啓蒙啓発事業を実施していただきたいと思うが、考えをお聞かせ。

A 非核平和都市宣言は合併前の六つの市町村とも行っており、啓蒙啓発事業につきましては、従来から展開してきましたが、伊賀市になりましたも引き続き、強く事業に取り組んでいきたいと思っております。

柘植駅周辺整備について

(安田文男議員)

Q この計画は、旧伊賀町の第三次総合計画にも盛り込み、合併後新市に建設計画が移行されたが、今後、伊賀市として柘植駅周辺整備をどのように進めていくのかお尋ねする。

A 十七年度に策定する伊賀市総合計画の中にも引き続き進めたいと思っております。

市民病院における高度予防検診について

(安本美栄子議員)



上野総合市民病院

Q 病気に対する急増は、早期発見が重要で予防医学の必要性が急速に高まっている。市民病院において癌を早期に発見できる画期的診断法「ペット」導入の構想があったが、この「ペット」の導入による高度予

防検診の計画について示されたい。

A 最近では予防医学が非常に進んできております。検診部門を予防的なものと診療の二つを行っていきませんが、診療の場合は急性にするか慢性を扱うかは、この伊賀地区においての問題であります。将来はプライベートな病院で急性をやっていたとき、市民病院は慢性を扱うか今後の課題であり、病気の方向の診療と健康な方の検診と区別するために、ペットを二台導入して検診棟を四階建てと想定しますと、十五億ぐらい、医師が二名、事務が一名、看護師が一名、あとはパートで、全体で十五名程度必要ではないかと考えています。またペットは一次二次的な検診を受けられて、さらに高度な検診を受けられる時に利用していただければと思っております。

財政と組織

(英 成樹議員)

Q 十七年度は大変厳しい予算となっている。私は、それなりに評価できる予算となっていると思うが、どんな予算にしたかったのかをお尋ねする。また、物件費などの管理経費が大きいことから、早急に行政組織の見直しを図らなければならないと考えているので、上野支所と本庁を統合してはどうか伺いたい。

A 伊賀市ができ、十年という長期で見たときに、十七年度は助走の年度、即ち、どういう伊賀市創りをしていくのかという基本プランを策定する年度に入ると思っていますので、計画策定費等をするべき予算組みとなっています。五ヶ月たちましたが、支所本庁のいろいろな問題が出てきているため、今後、行財政改革大綱を策定する中で議論いただき、効率的な組織を検討していきたいと考えています。

携帯電話の未通話地域の解消

(中本徳子議員)

Q 携帯電話は事故等の緊急時には、早急に連絡できるなど必要なものであるが、旧青山

町地内の一部において、携帯電話の未通話地域があり非常に不便を感じている。未通話地域の解消に向けて、数年前から行政当局に要望してきたが、解消に至っていない。国・県関係機関への働きかけはどうか伺いたい。

A 今後の取り組みの重要な問題だと認識しています。具体的な方策等は新年度以降の問題になるかと思いますが、解消に向けて努力をしております。また、携帯電話格差是正事業として、国において移動通信鉄塔施設国庫補助事業がありますが、国・県更に通信事業者の参画が重要で、その上で補助事業の採択をお願いしていきたいと考えています。



公共建物の耐震診断の進捗状況は

(中西慶三郎議員)

Q 災害が発生したときの避難場所になるのは、公共建物である。学校、公共施設の耐震診断の状況をお尋ねする。

A 公共施設については、これまで十四ぐらいの施設の耐震診断を行ってきましたが、順次公共施設の耐震調査を行い、耐震のための改修をしていきたいと考えています。また、学校関係では、緊急度の高いところから順次実施していきたいと思っております。

設計業者及び施工業者の選定について

(岩田佐俊議員)

Q 鳥ヶ原地区での学校建設に絡んでの工事の失態、また友生小学校建設での生コンミキサーの積算見積もりミス、残土処分ミス等があったが、ペナルティを課せられた業者がいままであったのか、更にそうしたことを踏まえて、業者の資格選定にどのように考慮され

てきたのかお聞かせ。

A 業者の選定につきましては、伊賀市入札参加資格に関する要綱により手続きを行い、入札参加資格者名簿に登録された業者から、事業担当課において選定していますが、設計業者の選定については、伊賀市としての資格認定基準を作成していきたいと考えています。また、伊賀市発注以降、ペナルティを課せた業者は、ございません。

市立図書館と各公民館図書室との運営について

(森野廣榮議員)



上野図書館

Q 旧上野市の図書館と阿山文化センター内の図書室や旧各町村の公民館内に設置されている図書室の貸出し連携はどのようになっているのかお尋ねする。

A 上野図書館に導入してあります図書システムを、すべての公民館図書室に導入していく予定をしています。また、市内の図書室、図書館での図書の貸借は、是非実施していきたいと考えています。

水道水の使用量と今後の状況について

(奥 邦雄議員)

Q 水道事業は、市民の皆さんに安全で安心なおいしい水を提供することである。災害等が発生すると、飲み水が不足する事態となり、重要な問題となってくる。ついては、上水道の現状と今後の状況について伺いたい。

Q 上水道につきましては、上野、阿山、伊賀の三つの運営を行っており、計画給水人口八万八千六百六十人、一日の最大給水量が四万九千二百五十トンとなっております。現状の上水道事業の中には、いろいろ課題がありますが、上野の第八次拡張計画、災害関係での施設整備等を計画しています。また、伊賀市の水道整備計画を立てていき、経営統合ということも議論していきたいと考えています。

撤去について しらさぎクリーンセンターの

(高原香積議員)

Q 四か町村環境衛生組合が所有していた、しらさぎクリーンセンターの撤去については、ダイオキシン規制や撤去費用が十億円程度かかるため撤去されていながら、その計画についてをお尋ねする。

A 十七年度で撤去費用等の調査、財源を確保するための有効な手立て等の調査を行いたいと思っております。更に十八年度には、撤去作業と跡地利用計画の樹立をしていきたいと考えています。



しらさぎクリーンセンター

ペイオフ全面解禁対策について

(小丸勅司議員)

Q 本年四月からペイオフ全面解禁となりますが、金融機関に対し毎月三十億から四十億程度の多額の公金を動かしていると思う。旧

上野市では、公金管理基本計画による公金管理組織委員会の議論が進んでいたが、旧町村の公金管理基本方針はどうか見解をお示し願いたい。

A 公金管理基本方針は、五つの旧市町村において策定されておりましたが合併前の六つの収入役会で協議を重ね、ほぼ旧上野市の基本方針を継承しています。また、伊賀市の公金管理につきましては、伊賀市公金収納管理運用検討委員会を設置しています。

学校、幼稚園の防災について

(森本 聡議員)

Q 学校の耐震について文部科学省は現在主流となっている建物の新築、改築を改め、鉄骨で補強するなどの改修に重点を移す方針を決めたことされている。昭和四十四年三月建築の大山田中学校の耐震診断、体力度調査を実施される計画であるが、それ以前の建てられた学校、幼稚園で耐震診断、体力度調査のいずれも実施していないところがあると思うが、いかががお伺いする。

A 耐震診断の未実施の校舎は、幼稚園、小学校、中学校で十三校ございます。その内昭和五十六年六月の建築基準法改正以前に建てられた学校が二校、体育館が四校ございます。今後、校区再編等で廃校になる学校を除きまして、優先的に実施していきたいと考えています。



現在の農業・農村をどのように考えるか

(北出忠良議員)

Q 現在の農村は、多くの兼業農家と二握り

の専業農家に分かれていると思う。両者はまったく別のものであるにもかかわらず、同じ農政という枠組みの中で論じられている。現在の農業・農村をどのように考えておられるのかお尋ねする。

A 兼業農家も専業農家も農村に住んで、初めて農村の崩壊を防止できると思っています。二、三年前からの農政は、専業農家を中心とした政策に転換しつつあるというのも事実であります。従来、減反や転作はいまのところありませんが、これからは色分けがされていくだろうと思います。

伊賀南部消防組合と伊賀市消防について

(宮崎由隆議員)

Q 合併前の法定協議会で、二年後を目指して見直すと言われていたが、どのように進められているのか。また現実のものになるのかお伺いする。

A 合併協議を重ねる中で、伊賀広域も含めて検討し、二年を目途の一つとなるようにしています。伊賀全体十八万市民の行政エリアが分かれていたため、隣の救急車が入れないというのとは不合理な話であります。伊賀は一つで人命を守る仕組みづくりが必要かと考えますので、今後努力をしていきたいと思っております。



伊賀南部消防組合

福祉のまちづくりについて

(畑中 尚議員)

Q 合併後、起こっていることは、弱者切り捨てである。例えば、一人暮らしの高齢者へ

の乳酸菌配布事業をやめる、一人暮らし老人への友愛訪問制度をやめるなど、次々切っ掛けしてきているのである。福祉のまちづくりについて、合併後よくなった点があるのかお伺いする。

A いろんな福祉事業や制度は、それぞれの地域独自の政策として行われていました。更にサービスや負担はそれぞれの市町村でまちまちでありました。その地域であった制度を残していたのでは、合併の意味がありません。十七年度中に伊賀市の一本化に向けての計画書が出来上がってきますので、その中で福祉につきましてもうたわわれてくると思います。

猪田橋拡幅への取組みについて

(前田孝也議員)

Q 猪田橋については、国道四二二号線、国道三六八号線バイパス、青蓮寺幹線道路からの交通量の増加が加わり混乱が多くなり、早急な整備事業が不可欠な状態となってきた。平成三年と平成八年に橋の重点点検を実施し、その後年一回遂行しているとのことですが、十五年度、十六年度の点検結果の状況をお尋ねする。

A 猪田橋は県道であり、本路線は県が平成十五年に策定した新道路整備計画外の道路となっています。今日の県の財政の中では、早急な対応は難しい状態ではありますが、今後早期改修に着手できるように努力をいたすことになつております。また、橋の安全ですが、耐震診断や補強工事も行い、県が責任を持って管理をしていただいております。



猪田橋

3月定例会

提出した議案の審議結果

■原案認定されたもの

議案第 1号～議案第 8号 平成16年度三重県上野市一般会計及び7特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 9号～議案第 17号 平成16年度三重県阿山郡伊賀町一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 18号～議案第 23号 平成16年度三重県阿山郡島ヶ原村一般会計及び5特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 24号～議案第 28号 平成16年度三重県阿山郡阿山町一般会計及び4特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 29号～議案第 35号 平成16年度三重県阿山郡大山田村一般会計及び6特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 36号～議案第 43号 平成16年度三重県名賀郡青山町一般会計及び7特別会計歳入歳出決算の認定について
 議案第 44号～議案第 57号 平成16年度各一部事務組合等一般会計歳入歳出決算及び各企業会計決算の認定について

■原案可決されたもの

議案第 58号～議案第 68号 平成17年度三重県伊賀市一般会計及び10特別会計予算
 議案第 69号 平成17年度三重県伊賀市病院事業会計予算
 議案第 70号 平成17年度三重県伊賀市水道事業会計予算
 議案第 71号 平成17年度三重県伊賀市伊賀下水道事業会計予算
 議案第 72号 平成17年度三重県伊賀市製材事業会計予算
 議案第 73号～議案第 74号 平成17年度三重県伊賀市島ヶ原及び大山田財産区特別会計予算
 議案第 75号～議案第 85号 平成16年度三重県伊賀市一般会計及び10特別会計補正予算(第1号)
 議案第 86号 平成16年度三重県伊賀市病院事業会計補正予算(第1号)
 議案第 87号 平成16年度三重県伊賀市水道事業会計補正予算(第1号)
 議案第 88号 平成16年度三重県伊賀市伊賀下水道事業会計補正予算(第1号)
 議案第 89号 平成16年度三重県伊賀市製材事業会計補正予算(第1号)
 議案第 90号～議案第 91号 平成16年度三重県伊賀市島ヶ原及び大山田財産区特別会計補正予算(第1号)
 議案第 92号 伊賀市総合計画審議会条例の制定について
 議案第 93号 伊賀市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
 議案第 94号 伊賀市手数料条例の一部改正について
 議案第 95号 伊賀市駐車場条例の一部改正について
 議案第 96号 財産の貸付けについて
 議案第 97号 伊賀市義務教育施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について
 議案第 98号 伊賀市子ども健全育成条例の制定について
 議案第 99号 伊賀市スポーツ振興審議会に関する条例の制定について
 議案第100号 初瀬街道交流の館たわらや設置及び管理に関する条例の制定について
 議案第101号 伊賀市立学校設置条例の一部改正について
 議案第102号 伊賀市体育施設条例の一部改正について
 議案第103号 スクールバス乗車運賃徴収条例の廃止について
 議案第104号 伊賀市地区市民センター条例の一部改正について
 議案第105号 島ヶ原村出産祝金等の支給に関する条例及び大山田村出産祝金支給条例の廃止について
 議案第106号 伊賀市集会施設条例の一部改正について
 議案第107号 伊賀市農業集落排水処理施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 議案第108号 伊賀市都市公園条例の一部改正について
 議案第109号 伊賀市市民緑地設置条例の一部改正について
 議案第110号 字の区域の変更について
 議案第111号 土地の取得について
 議案第112号 指定管理者の指定について
 議案第113号 市営土地改良事業の施行について
 議案第114号 市営土地改良事業の施行について
 議案第115号 市営土地改良事業の経費の賦課の基準並びに徴収の時期及び方法を定めることについて
 議案第116号 市営土地改良事業の施行について
 議案第117号 市営土地改良事業の経費の賦課の基準並びに徴収の時期及び方法を定めることについて
 議案第121号 平成16年度三重県伊賀市一般会計補正予算(第2号)
 議案第122号 伊賀市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について
 議案第123号 三重県自治会館組合の規約変更に関する協議について
 議案第124号 三重県地方税管理回収機構の規約変更に関する協議について
 議案第125号 伊賀市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
 議案第126号 伊賀市長、助役及び収入役の給与及び旅費に関する条例の一部改正について
 議案第127号 伊賀市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について
 議案第128号 伊賀市水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について

■原案承認されたもの

議案第118号～議案第120号 専決処分の承認について 3件

■原案同意されたもの

議案第129号～議案第130号 人権擁護委員候補者の推薦について 2件

■報告されたもの

報告第 1号～報告第 5号 地方自治法指定法人の経営状況を説明する書類の提出について 5件

* 議案第1号から議案第57号については、平成16年4月1日から平成16年10月31日までの合併前の旧市町村の歳入歳出決算にかかるものです。

平成17年 第2回臨時会

議長に小丸勅司氏 副議長に山岡耕道氏 を選出

平成17年4月15日、第2回伊賀市議会(臨時会)が開催され、議会役員の新選に伴い、正・副議長選挙、議会選出の監査委員の選任同意ほか、各常任委員・議会運営委員等の選任等が行われました。

新役員選出の結果、議長に小丸勅司氏、副議長に山岡耕道氏が当選されました。また、議会選出の監査委員として、森本 颯氏の選任に同意しました。



監査委員
森本 颯



副議長
山岡 耕道



議長
小丸 勅司

議 会 構 成

各常任委員会委員、議会運営委員会委員、一部事務組合議員は、次のとおり決まりました。◎は委員長、○は副委員長

総務常任委員会 9人

総務部、企画振興部、消防本部、収入役、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項
他の常任委員会の所管に属さない事項

◎恒岡弘二、○森岡昭二、木津直樹、森本 颯、勝矢節義、土井裕子、英 成樹、安本美栄子、葛原香積

教育民生常任委員会 9人

人権政策部、生活環境部、健康福祉部、総合市民病院、教育委員会の所管に属する事項

◎前川款昭、○前田孝也、田山宏弥、本城善昭、北出忠良、渡久山カナエ、大西保定、森永勝二、森野廣榮

産業経済常任委員会 8人

産業振興部、農業委員会に属する事項

◎奥 邦雄、○桃井隆子、空森栄幸、今井由輝、岩田佐俊、馬場登代光、山岡耕道、小丸勅司

建設水道常任委員会 8人

建設部、水道部の所管に属する事項

◎宮崎由隆、○松村頼清、森 正敏、今井博昭、坂井 悟、中本徳子、中岡久徳、本村幸四郎

議会運営委員会 7人

◎葛原香積、○坂井 悟、北出忠良、岩田佐俊、英 成樹、馬場登代光、本村幸四郎

広報委員会 9人

◎森野廣榮、○大西保定、田山宏弥、本城善昭、渡久山カナエ、奥 邦雄、中本徳子、森岡昭二、森永勝二

組 合 議 会 議 員

【伊賀市・名張市広域行政事務組合】

奥 邦雄、恒岡弘二、宮崎由隆、山岡耕道、小丸勅司、前川款昭、葛原香積

【伊賀農業共済事務組合】

田山宏弥、本城善昭、北出忠良、木津直樹、空森栄幸、今井博昭、岩田佐俊、勝矢節義、桃井隆子

【伊賀南部環境衛生事務組合】

前田孝也、中本徳子、中岡久徳、森野廣榮

【伊賀南部消防組合】

松村頼清、森 正敏、今井由輝、森岡昭二